



団地TOPICS

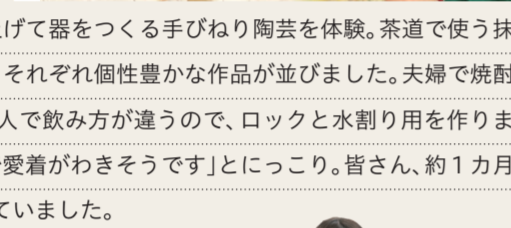
さまざまな団地で行われたイベント活動をお知らせします。

笑顔はじける

多世代交流・コミュニティ形成支援イベント 陶芸教室を開催 高見フローラルタウン五番街(大阪市此花区)

春の気配を感じ始めた3月25日、高見フローラルタウン五番街で18人の住民が陶芸に挑戦しました。小学生から80歳代まで幅広い年齢層の方が集まり、また他団地の方にもご参加いただき、世代・団地を超えての交流を楽しみました。

講師は、篠山市の窯元「市野伝市窯」の市野達也さん。今回の教室では、手でこねた粘土を積み上げて器をつくる手びねり陶芸を体験。茶道で使う抹茶わんや背の高い輪挿しなど、それぞれ個性豊かな作品が並びました。夫婦で焼酎グラスを制作した参加者は、「2人で飲み方が違うので、ロックと水割り用を作りました。自分の手になじむサイズで愛着がわきそうです」とにっこり。皆さん、約1カ月後の焼き上がりを楽しみにされていました。



1. 市野先生がわかりやすく丁寧に教えてくれました2. ユニークな形の作品が焼き上がりました！3. 楽しく陶芸体験できました！

満開の桜を愛でながら、おいしい弁当に舌鼓 春のお花見昼食会 逆瀬川(兵庫県東塚町)



4月8日、逆瀬川団地で初めての試みとなる「春のお花見昼食会」が開催されました。当日は子どもから高齢者まで、事前予約していた約50人が参加。昼食は、2年前から毎週土曜日に逆瀬川団地で移動店舗販売を行っているコープこうべに特製二段弁当を発注しました。たけのご飯など旬の食材が詰まった弁当に、参加者は「桜を眺めながら食べるのとより一層おいしく感じられるなあ！」と舌鼓を打ちました。



前日から降り続いた雨の影響で急きょ集会所が会場となりましたが、弁当を食べるころには雨も上がり、昨年整備された中央公園のベンチで満開の桜を囲みながら談笑する住民の姿も見られました。

月に2回ふれあいカフェを開催している逆瀬川団地。この日も食後にアフターカフェがふるまわれ「夏にはビアガーデンをやろう！」「秋には紅葉狩りも！」という声がかかるほどのにぎわいとなりました。



1. 桜の下で食べる弁当は格別の味わいです！2. 集会所内も子どもから高齢の方まで、多くの住民でにぎわいました3. コープこうべの移動店舗販売も盛況！

コグニサイズで認知症を予防！ 高齢者等向け講座を開催 武庫川(兵庫県西宮市)



5月9日、武庫川団地集会所で認知症ケア専門士の三島亮士さんを講師に招き、高齢者等向け講座「今日から始めよう！認知症予防」を開催しました。

社会の高齢化が進む中、認知症やその前段階の「軽度認知障害」の方々も増えつつあります。5,000戸以上が暮らす武庫川団地では団地内に生活支援アドバイザーを配置し、高齢者向けの講座も年5～6回継続的に開催するなど、きめ細かい入居者サポートに取り組んでいます。

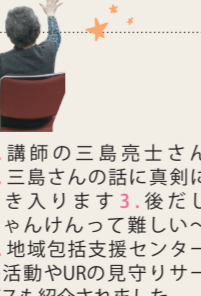
今回の講座には32人の住民が参加。三島さんの「認知症とは脳の病気ですが、今のところ特效薬はありません。認知症にならないよう、まずは予防することが大事」との解説に真剣な表情で聞き入っていました。



「後だしじゃんけんって僕に負けてください」といった三島さんのリードに「簡単そうだけど、頭を使うね」「じゃんけんはどうしても勝とうとしちゃう」と、参加者の笑顔が絶えない体験になりました。

質疑応答の時間には脳と血管の関係についての質問も出るなど、「認知症予防」や「健康づくり」に対する住民の意識の高さもうかがえる講座となりました。

解説の後には「コグニサイズ」を体験。コグニサイズとは頭を使いながら体を動かす簡単な体操のことで、椅子に座ったままでできることが特徴です。「『3の倍数』のときだけ手をたたきながら30まで数えてみましょう」



1. 講師の三島亮士さん2. 三島さんの話真剣に聞き入ります3. 後だしじゃんけんって難しい～4. 地域包括支援センターの活動やURの見守りサービスも紹介されました

団地に歴史あり

団地とともに歩んだ60年

長居東団地
[大阪市住吉区]

今から半世紀前、1960年前後に撮った写真が見つかりました。東京で勤務していた当時、大阪の老舗企業に転職することになり住居を東長居の住宅公団の1階端に決めました。写真はある大雨の日、隣の子をおんぶして迎える幼稚園の車まで運ぶ妻を見送る息子の様子です。(サンヴァリエお田・田中登)



1964(昭和39)年ごろ

懐かしい団地写真を募集しています！

懐かしい風景、暮らしの一場面など、みなさんをお持ちの思い出の写真をお寄せください。紙面に掲載させていただいた方にはクオカード(3,000円分)を進呈します。※対象は「日本住宅公団」「住宅・都市整備公団」など、UR都市機構の団地に限定させていただきます。詳しい応募方法は7ページをご覧ください。

コミュニティニュース

浜甲子園さくら街(兵庫県西宮市)

「ここに車をとめないで！」 小学生の絵で迷惑駐車激減

浜甲子園さくら街団地では昨年まで、団地内の駐車場進入道路で迷惑駐車が多発。団地の入り口を車がふさぎ、歩行者や自転車の通行にも困るほどの状況でした。

ゼブラゾーンの表示やコーン標識などを設置しても効果が上がらない中、小学生の絵を設置すると放置自転車削減に効果があったという大阪市の取り組みを参考に「小学生の絵で訴えかけると」と検討。浜甲子園団地自治会から近隣の西宮市立甲子園浜小学校に児童に絵を描いてもらえないか打診しました。「物騒なご時世ということもあり、当初は断られるかもしれないと思っていた」と話すのは事務局長の小川哲男さん。しかし、15年近く児童の登下校見守りを続けてきた自治会と小学校の信頼関係は厚く、快諾を得ることができました。

こうして集まったのが、駐車禁止をテーマにした絵です。2017年2月に試験的に5枚の絵を看板にして設置すると、目に見えて迷惑駐車が減り、現在は4カ所に16枚の絵を設置しています。

迷惑駐車がなくなっただけでなく、子どもたちにとっても絵の設置が励みになっており、地域と学校の縁がより深まる取り組みとなりました。



1 迷惑駐車での往来が困難になっていた駐車場進入道路



児童の思いは確実にドライバーに届いています



2 ドライバーの目線と同じ高さになるよう設置された看板

アルビス旭ヶ丘(大阪府豊中市)

子育て情報 すくすく

たんぼぼルーム

陽だまりのような温かさ 親子の笑顔が咲き広がる

「陽だまりの中で伸び伸び育つ花のように」との思いから名付けられたたんぼぼルーム。活動場所のアルビス旭ヶ丘集会所入り口にはスタッフ手作りの看板が飾られ、訪れる親子を温かく出迎えます。

開所時間中は出入りが自由、無料で利用できます。豊中市の子育て支援センターの保育士、団地に隣接する認定こども園の地域支援保育士が常駐し、親子に寄り添いながら、絵本の読み聞かせや体操などで楽しく過ごしています。子育ての相談にも随時応じており、保健所なども迅速

に連携を取りながら、安心して子育てができる環境づくりを重層的に支援しています。

初めて遊びに来る方も気軽に交流できる工夫が、子ども一人ひとりの名札作り。「母親同士の会話のきっかけになり、スタッフもすぐに名前を呼べるので、より愛着を持ってふれあうことができます」と話すのは、地域支援保育士の横井美紀さん。

2015年の開設から2年、手作りの名札は今や約200枚。その数がたんぼぼルームのつながりの深さ、居心地の良さを物語っているようです。



- 活動場所 / 大阪府豊中市旭丘1・3・4・6・7・9番アルビス旭ヶ丘集会所
- 開所時間 / 火・木曜10時～16時
- 対象 / 0歳～就学前の子ども
- お問い合わせ / TEL06-6848-0806

vol.2

団地テナント 気になろお店

富田
(大阪府高槻市)
maru

maruから広がるおいしさの“輪”

パン職人として約20年のキャリアをもつ店主の足立泰雄さんが、昨年12月にオープンした手作りパンのお店。焼き立てパンの香りが漂う店内には老若男女どんな方にも食べていただけるよう、70～80種類のパンが並びます。「朝食、昼食、おやつ、さまざまなシーンでパンを食卓にあげてもらえたらうれしい」と話す足立さん。中でも製法が異なる2種類の食パンは「まずは生のまま、パン本来の風味を味わってほしい」と胸を張る自慢の逸品。オープンから半年がたち、最近ではリピーターやロコ



ミで買いに来られるお客さまも増えているとのこと。「笑顔での接客はもちろんのこと、お客さまにも笑顔になっていただけるような、まちの人々に愛される店にしたい」と話します。



- 1 窓の外に広がる団地の広場。「車も通らず、安心して買い物に来ていただける環境。この景色がお気に入りなんです」と足立さん
- 2 人気ナンバーワンはメロンパン。「1日に2～3個食べても飽きない」とおっしゃるお客さまも

SHOP DATA

大阪府高槻市牧田町7 55号棟102号室
TEL 072-648-3663
営業時間 8:00～19:30 (火曜日)
アクセス: JR京都線「高槻」駅または阪急京都本線「高槻市」駅から市バス「富田団地中央」で下車徒歩約1分
駐車場1時間無料サービスあり



小文字で書かれたmaruはフランスパンの形をイメージ。ロゴには富田団地のシンボルツリーであるメタセコイアをあしらひ、「団地に根差したパン屋」を表現しています